

2024年度関西写真記者協会 朝日放送テレビの作品が2部門で受賞

関西写真記者協会の加盟社が、この1年間で放送したVTRの中から、優れた作品に贈られる協会賞。朝日放送テレビ(本社:大阪市福島区)の夕方情報番組「news おかえり」で放送された2本のVTRが2部門にて受賞しました。

☆企画部門銀賞

【タイトル】「コケイン症候群」今を楽しむ親子の笑顔

【撮影】 神近伸彰(エクスプレス所属)

2024年6月13日 「news おかえり」にて放送

【内容】

通常の4倍から5倍の速さで老化が進み、平均寿命は15歳から20歳。50万人に1人の遺伝性難病「コケイン症候群」。

14歳の沖采音(ことね)さんは7歳の時に診断されました。

日に日に失われていく、歩く力。聞く力。見る力。



母の香織さんは、今ある毎日を懸命に采音(ことね)さんと過ごしています。限られた寿命を楽しむ親子の笑顔を取材しました。

☆新人賞

【タイトル】 亡き父の跡を継いで 漁師町で魚を売る女性

【撮影】 古賀一誠(エクスプレス所属)

2024年8月5日 「news おかえり」にて放送

【内容】

京都府京丹後市間人。

昔ながらの漁師町で、お店を持たない「鮮魚行商」をしている下岡千恵子さん。元々は大阪で会社員をしていた、家業を継ぐつもりはありませんでしたが、先代の父が突然亡くなり、いかに地元のお客さんに愛されていたのかを知ります。



「続けてほしい」の声に応えるべく魚屋を継ぐことを決意し、父の背中を追って奮闘する姿を撮影しました。

